***～自律的な改善をめざして～***

***内部統制TIMES***

第14号 H29.８.31発行

総務局監察部内部統制担当

ba0031@city.osaka.lg.jp

**第３回内部統制連絡会議を開催しました！！**

去る７月18日、第３回大阪市内部統制連絡会議を開催しました。

会議の冒頭、最高内部統制責任者（市長）から次のような趣旨の訓示がありました。

**・所属長は内部統制の責任者である。自らの所管する業務について、プロセスレベルで**

**きっちりと点検し、リスクの顕在化を防ぎ、業務の適正化を図ってほしい。**

**・共通業務責任者には、他局にまたがるような事務について、文書化とモニタリング**

**という２つの非常に重要な役割がある。特にモニタリングは重要な役割である。**

**・引き続き、総務局とも連携しながら、各所属の取組をサポートしてほしい。**

**・内部統制は職員のコンプライアンス意識が土台になる。いくらルールを作っても職員のコンプライアンス意識が醸成されなければ、リスクが生じやすくなる。**

**1人の不祥事によって役所全体の信用が失墜する。それぞれの所属でこのことを意識して**

**内部統制に取り組んでもらいたい。**

一

二

三



連絡会議の資料等は、[ＨＰ（新たな内部統制の確立）](http://www.city.osaka.lg.jp/somu/page/0000286573.html)や[庁内ポータル（総務局内部統制関係情報）](http://i-portal.ii.city.osaka.jp/section/ba/Pages/15_内部統制関係情報/内部統制連絡会議.aspx)に掲載しています。是非、ご覧ください！！

３つの重要リスク

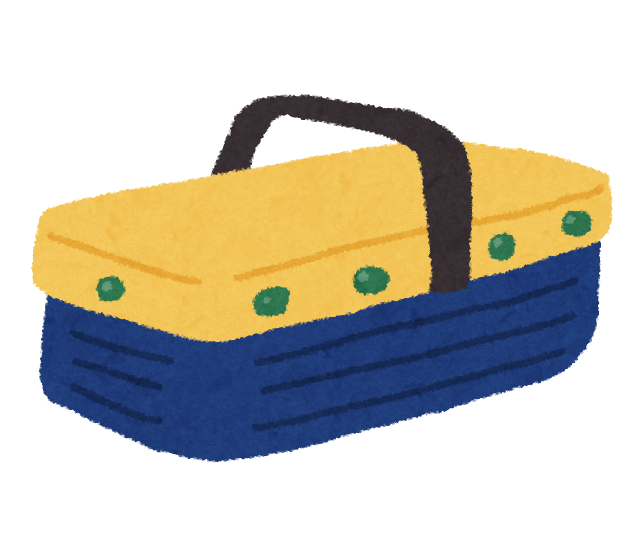
①「不適切な契約」②「支払遅延・誤り等」③「不十分な現金等管理」

☞（「内部統制TIMES」に対するご意見は[ba0031@city.osaka.lg.jp](mailto:ba0031@city.osaka.lg.jp)まで）

**・　平成29年６月、地方自治法が改正され、都道府県及び政令指定都市には内部統制、特に「財務に関する事務」の内部統制の整備が義務付けられます。**

**・　法が施行される平成32年度の本格実施に向けて、計画的に準備を進めていく必要があり、今年度は、各所属で昨年度実施いただきましたリスク把握・評価の結果判明した、「財務に関する事務」の３つの重要リスクについて点検・整備を行う予定です。皆様のご協力をよろしくお願いします！**

****

****

**平成32年度から内部統制の整備が義務化されます！！**